

くらしの目線で市政を変える

こんにちは **日本共産党** 西野さち子 です！  
京都市会議員

発行：2021年6月20日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目3 8 1 日本共産党伏見地区委員会 Tel:075(611)9135 FAX:075(602)9117



# 総選挙 目前!! 野党共闘で国政を変え 市政を変えよう



6月12日、小栗栖の新小石橋で日本共産党の井上さとし参議院議員、武山彩子比例予定候補、西野さち子市議が訴えました。井上参議院議員は「菅内閣はコロナ禍を利用して、してはいけないことをしている。病院の削減、高齢者の医療費2倍化など社会保障費の削減を強行採決。土地利用規制法案も強行採決しようとしている。本人の同意なしで自治体が持っている個人情報収集できる。いったん決まれば基地周辺と言ってもその範囲はどこまでも拡大でき、対象施設も拡大できる。監視の範囲は際限なくなる。廃案にすべき。」と訴えました。

西野市議は「市長は京都市の財政が破綻すると市民を脅している。敬老乗車証の改悪、保育料の値上げ、保育士の処遇改善費の削減、国保料の値上げなど、国以上の施策ができなくなるといながら、北陸新幹線計画や堀川バイパストンネルを進める計画。国政が変われば市政にも大きな影響が出ます。今年は国政を変えるチャンスです。本気で政治を変えましょう。」と訴えました。

## 「家賃減免の見直しやめよ」市議会で徹底論戦!!



### 「まちづくり委員会」

「行財政改革計画」案が発表されましたが、この計画に関わって、西野市議は、市営住宅の家賃減免制度の見直しについての質疑をしました。住宅審議会の答申で民間住宅の家賃と市営住宅の家賃の差が大きいので、見直すべきだと意見が出たため、見直すというものです。市営住宅は元々安い家賃で、安心して暮らしていただくためのもので、京都市もセーフティネットだと言っています。ところが市営住宅に応募しても入れない市民は、高い民間住宅に入っているから、不公平なので見直すと言います。全く理屈になっ

ていません。西野市議は「それなら便利なところの市営住宅を減らして跡地を売却するのではなく、入りやすい市営住宅にする事の方が先ではないか。生活が大変で家賃の減免をしている世帯の負担を増やすことには反対だ」と議論をしました。ぜひ、一緒に声を上げましょう。



### 「行財政改革計画」案への市民意見募集にご意見をお寄せください

市長は「行財政改革計画」案を発表しました。6月12日から7月11日の期間で市民意見の募集が行われます。財政が大変になったのは市長の責任です。市民にその責任を押し付けて、負担増ばかりでは、市の財政の前に市民の暮らしが破たんしてしまいます。税金の使い方の見直しや、コロナ禍の下でも儲かって内部留保を増やしている大企業に応分の負担をしてもらうべきです。ぜひ、多くの皆さんの意見をお寄せください。市役所や醍醐支所にも用紙は置いてあります。

### 地球温暖化ストップ。市会議員団スタンディング

日本共産党市会議員団は、地球温暖化ストップ！原発ゼロを訴えるために、市役所前でスタンディングをしてアピールしました。



困ったときは…  
日本共産党の生活相談所へ

毎週月・水・金曜日  
午前10時から午後5時  
まずはお電話ください!!

☎621-6717

政治革新の道しるべ、  
真実つたえ希望はこぶ

しんぶん 赤旗

日刊●月 3497円  
日曜版●月 930円